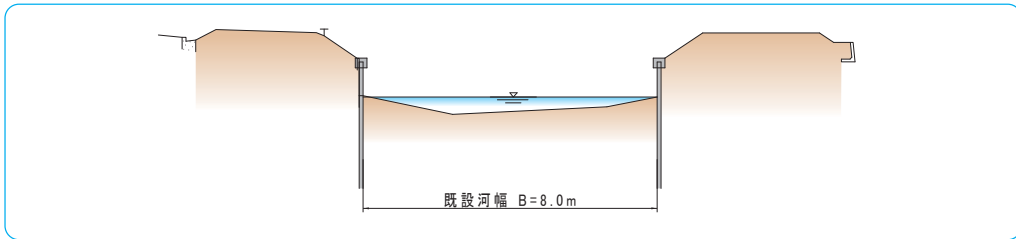


生き物に配慮した防災対策

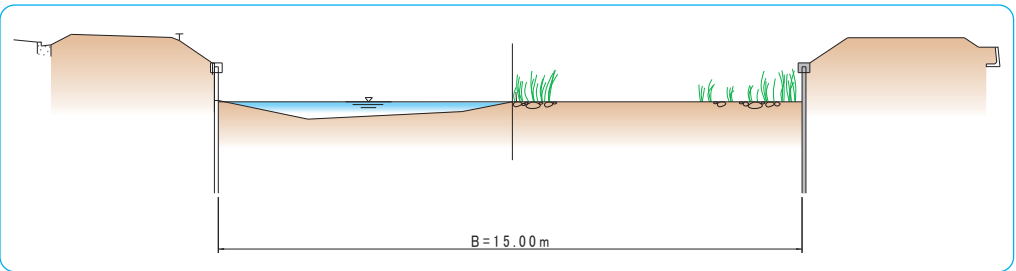
計画の概要

若宮川は流下能力に乏しく、毎年のように氾濫し水田が湛水しています。その対策として、ポンプ排水機場の改修と若宮川下流部 400m区間の拡幅等を計画しています。

現在の若宮川



改修後の若宮川



平常時



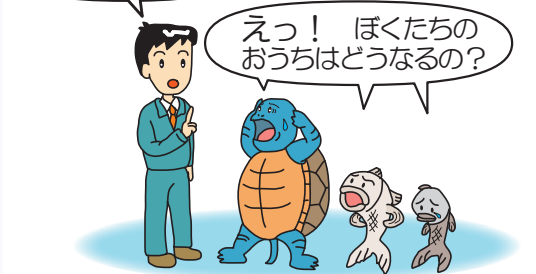
洪水時



ポンプ排水機場



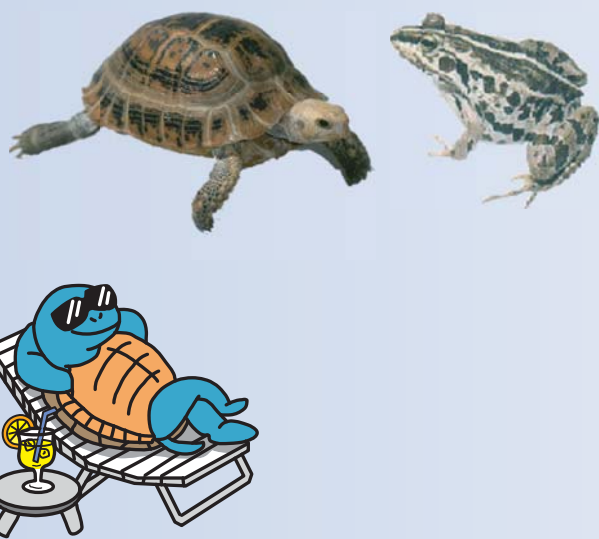
川の工事をします



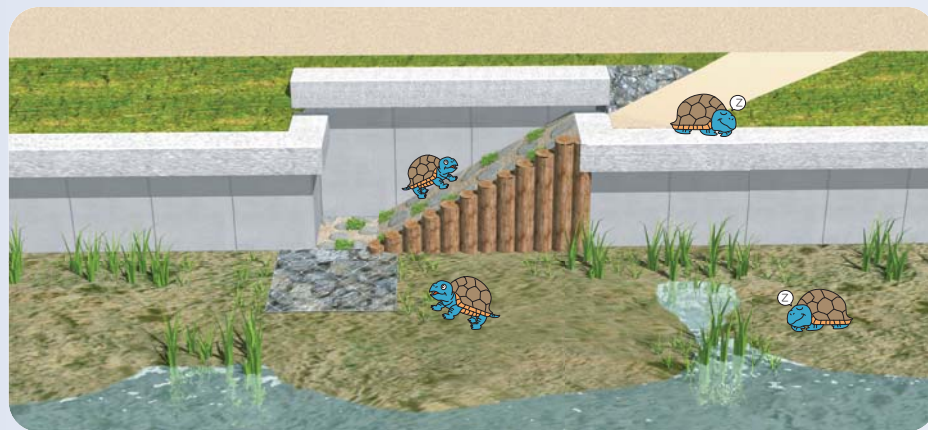
生き物に配慮

拡幅部は生き物たちに配慮し、河床部に陸域となる部分を創出してカメの甲羅干しができる場所としたり、また洪水時には魚たちの隠れ家となる場所を作ります。

カメやカエル



カメやカエルなどの水域と陸域の両方を必要とする生物にとっては、水域と陸域が連続している場所が必要であり、下図のような「カメの坂道」を計画しました。



上図：カメの坂道付近を真上から見たイメージ
左図：カメの坂道付近のイメージ

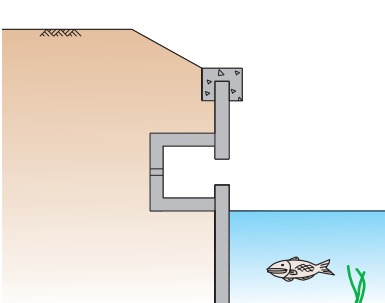
魚類



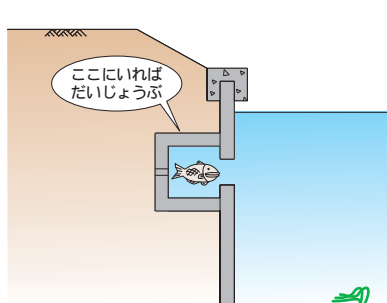
洪水時の魚類の避難場所として、コンクリート矢板を以下のように工夫し、隠れ家を創出しました。

魚巣ボックス

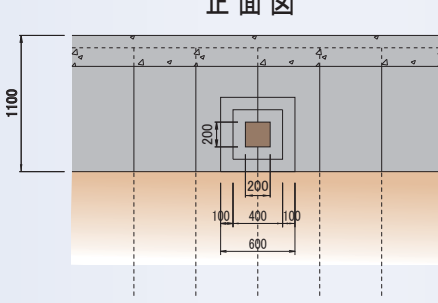
平常時



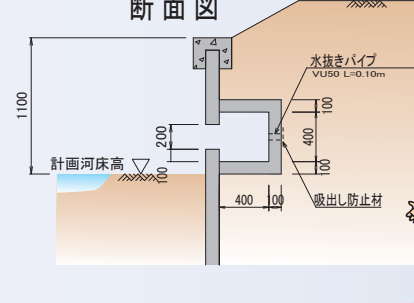
洪水時



正面図



断面図



これでみんな安心してらせるね

